

越中一宮

<https://www.takase.or.jp>



桜詣。

春は新しい生活の始まる季節！。
心に元気、新しい私。

「桜詣」のご朱印をご用意してお待ちしています。
期間 開花の頃〜十五日(金)

撮影 南部スタジオ

四月・五月の祭事

月次祭(毎月一日・十三日)
神武天皇祭(四月三日)
春季祭(四月十日)
昭和祭(四月二十九日)
御田植祭(五月下旬)



人生の節目を迎えて

宮司 藤井 秀嗣

昨年、還暦を迎えたので会社務めをしていたとしたら、今年の三月末で定年退職となっていました。ありがたいのかどうかわかりませんが神職は生涯現役、六十歳はまだまだ駆け出しくらいに認識されています。

今頃、私の同級生の大半は一線を退き、次のステップに進んでいることでしょう。完全に退職の人、定年延長で現職のままの人、役職を退いて嘱託のような立場の人もあるかもしれません。いずれにしても退職間際のこと数年はコロナウイルス感染症蔓延の影響で思う存分仕事が出来なかったのではないかと思います。いわゆる「有終の美を飾る」総仕上げのような働きが出来なかったとしたら本当に気の毒なことです。

私が子供の頃、還暦の人の印象は完全にお爺ちゃんお婆ちゃんでした。いざ自分がそうなるかもしれないという自覚はありませんが、子供たちから見ると私も老人に見えているのでしょうか。

先日、検診のため病院へ行きました。ロビーで待っている人のほとんどがお年寄りでした。自分も年齢的にはその中の一人なのに「年寄りばかりだなあ」と若者気取りでした。診察順がきて、呼びだされた時、自分の番号票に年齢「六十歳」と書いてあることに気づき、そう自分も年寄りだったんだと自覚しました。顔にシワ、髪は白髪と外見上もそれらしい姿になってきているので、ロビーに大きな鏡があれば、すぐに自覚できたと思います。時に看護師

さんや事務員さんに小言を言っている高齢の患者さんを見かけますが、鏡があればその姿が映るので、そういう姿を見て自身の立場を自覚してもらうことも良いかもしれません。

まだまだ若いと思うことは良い事ですが、年齢を自覚することも大事なことです。これから何事も「無理せず、楽せず、ほどほどに」を心掛けて自分のペースで歩みを進めていきたいと思っています。

現在は桜の季節。若木も老木もきれいな花を咲かせています。人も同じです。老木なりに根を張って、花が小さくても、数が少なくても季節が来ればそれなりに美しく花開き、きれいだねと喜んで眺めてもらえる木でありたいものです。



邪鬼を打ち払うかのごとく舞われる「剣の舞」

福は内、豆まき神事

二十四節気の最初である「立春」を翌日に控えた二月三日、「節分祭」を斎行しました。

今年も昨年同様にご参列の皆様との密集状態防止対策を講じ、神職・巫女、また当神社責任役員石岡敬夫氏はマスクと白手袋をつけての「豆まき神事」を奉仕。季節の変わり目に不意に忍び寄ると言われる災厄を、今年もご参列の皆様と共に祓い遣りました。



今年の初詣も昨年同様、各所に感染拡大防止対策を施してのものとなりましたが、関係各位のご協力により、大過なく無事に実施することが出来ました。



令和四年 初詣



ご奉仕いただきました氏子、また七十七名の巫女を始めとする助勤者の心のこもったおもてなしは、ご参拝の皆様を、あたたくお迎えしました。

初詣句会

福野糸瓜句会奉納句

大前に我が名呼ばれん初祝詞
宮司より余生^{いたわ}る年賀かな
百歳のただ一盃の年酒かな
雪吊の心棒高く神の杜
千年の杜の雫や初日影
白銀のとなみ野を飛ぶ初鴉^{からす}
厳かにお祓ひうけて初句会
古民家の白梅の芽の粒小さき
なよりの年玉寅絵もらうなり
晴れ上がる鎮守の杜へ初詣
七十路の半ばを健に初詣

中川 英堂
梅島くにを
田上真知子
有川 寛
名村 五月
宇野 恭子^{やすこ}
上古 眞澄
城宝寿美礼
高原 禮子
有川 公子
五十嵐千恵子



皇紀二六八二年

紀元節祭斎行

今日では祝日「建国記念の日」として広く国民に親しまれる二月十一日、日本の建国を祝賀する「紀元節祭」を斎行しました。

「紀元節」は、国家の建設と安寧にお力を尽くされた初代天神武天皇のご聖業を讃える祝日として明治六年に制定、一度の中断を経て、昭和四十二年からは「建国記念の日」として、再び我が国の建国をしのぶ大切な祝日となりました。

神武天皇が大和橿原にてご即位されてより二六八二年、変わることもない日本の安泰と繁栄を祈念し、滞りなく祭祀を厳修しました。



福野松風会（大聖寺弘会長）の皆様による吟詠奉納



祈年祭齋行

― 五穀豊穡と産業発展に祈りを ―

立春を過ぎたとはいえ、いまだ境内の白雪の消えやらぬ二月十七日、氏子崇敬者・農業関係者他の皆様ご参列のもと、その年の豊穡を祈る「祈年祭」を厳肅に齋行しました。

「春祭」とも呼ばれるこの祭事は、古来、温暖な季節を迎え、稲作を始めとするその年の農作業が本格化する前に、作物全般の豊かな稔りをご神前に祈念するものでしたが、人々の生活の有り方が様々に変化した現代では、工業や商業を含む我が国の根幹をなす、

すべての産業の発展をも祈る大切な祭事となりました。いまだ終息を見ない感染症の拡大防止を最優先に、本年も規模をおさえての祭典となりましたが、巫女による神前神楽「浦安の舞」の奉奏、また井波松風会（藤沢有一会長）の皆様による吟詠、「光

（昭和天皇御製）」「神州（乃木希典作）」の二曲が奉納され、ご参列の皆様はそれぞれに心を込めて玉串を奉り、五穀豊穡と益々の産業の発展、そして一日も早い日常生活の回復を祈りました。



厳かに奉奏される「浦安の舞」



天長節祭齋行

― 今上陛下のお誕生日を寿ぎ ―

二月二十三日は、今上陛下が令和元年にご即位されてより二度目の祝日「天皇誕生日」。この日、当社でも「天長節祭」を齋行しました（ご即位がお誕生日後の五月一日であった為、令和元年の祝日「天皇誕生日」と「天長節祭」はありませんでした）。祭典では、天皇皇后両陛下の末永いご健康と皇室の弥栄、国家国民の繁栄を祈念しました。



祝祭日には国旗を掲げましょう

鎮火祭齋行

― 地域の無火災を祈念して ―

三月八日、南砺消防署東分署長 加藤裕久氏を始め、南砺市消防団井波方面団長 角地永吉氏、同福野方面団長 川森行雄氏他、地域の消防に携わる皆様、また関係各位のご参列のもと、「鎮火祭」を齋行しました。古式に則り、宮司と笠田武司高瀬分団長が水、続いて藤井崇・松井竜也各団員がそれぞれに砂と川菜を手執り、心を込めて「鎮火の儀」を奉仕し、地域の無火災を祈念しました。





大注連縄ご奉納

出雲大社型の 高瀬神社に 大注連縄を

昨年十二月、となみ野農業協同組合組合長の佐野日出勇氏より、就任以来、すべての事業が順調に実施出来た神恩報賽として、島根県は出雲大社の神楽殿に掛かる大注連縄と同じ製法の注連縄をご奉納いただきました。

長さ三・五メートル、重さ約一〇〇キロとなるこの大注連縄は、前出の出雲大社神楽殿を始め全国各地の大注連縄を手掛ける「飯南町注連縄企業組合」の石橋真治棟梁の奉製によるものです。



石橋棟梁による12月20日の取り付け作業



力強く大神様をお守りする大注連縄

特注の取り付け金具の設計と製作は、小矢都市の森田建設株式会社に依頼し、向拝への設置作業は十二月二十日、その奉納奉告祭は二日後の二十二日に滞りなく斎行しました。

拝殿には注連縄奉納講の 一文字注連縄

そして、拝殿には「注連縄奉納講」の皆様より、県内ではなかなか見ることのない直径一〇センチの一文字注連縄が奉納されました。こちらの奉製は射水市の株式会社社縄合屋代表 折橋由紀氏に依頼。ご奉納賜りました注連縄の見事な出来栄えに心から感謝を申し上げます。



注連縄奉納講による一文字注連縄（縄合屋奉製）

日本の新しい習慣として

夏詣 開催

期間 七月一日(金)～七日(木)

「夏詣」とは：

おほらえ

「大祓」は年に二回行われます。十二月三十一日の「師走の大祓」で罪穢れを祓い清めてから「初詣」に出かけ、新年の平穩を祈ります。

六月三十日の「夏越の大祓」でも同様に罪穢れを祓いますが、その後あらためて参拝する習慣はありませんでした。そこで、半年が無事に過ぎたことに感謝し、残る半年も平穩に過ごせるよう祈る参拝のことを「夏詣」と呼び、新しい習慣として提唱しています。



期間中境内を彩るガラスの風鈴



社殿前を飾る七夕の短冊

約二八〇個の
風鈴の音色

高瀬神社では、この「夏詣」期間、社殿前など境内に約二八〇個の風鈴を飾り、皆様に涼やかな音色をお楽しみいただいています。どうぞ、ご家族お友達お揃いでお参り下さい。



夏詣期間限定の御朱印

社報バックナンバーのご案内

当神社のホームページにてバックナンバーをご覧いただけます。祭典の由緒や行事の沿革など、過去の記事もご参考になさってください。 <https://www.takase.or.jp>

月次祭参列のご案内

高瀬神社では、氏子崇敬者の皆様に月次祭にご参列いただき、ご家族の平安と繁栄を祈念しております。ご参列をご希望の方は、社務所までお問い合わせ下さい。



日時 毎月1日・13日
午前10時
(1月1日・9月13日を除く)



夏越の大祓のご案内

「茅の輪くぐり」は祓い清めの神事

日時 六月三十日(木) 午後三時
場所 高瀬神社本殿

毎年六月と十二月に行われる「大祓」は、私達が日々を送る中で知らず知らずのうちに犯した罪穢れを祓い、清らかな心身に立ち返った上で続く半年を無病息災に過ごす為の、我が国に古くより伝わる大切な年中行事です。

当日は、拝殿にて「大祓詞」を奉唱のち「人形」に罪穢れを移し、「茅の輪」をくぐるにより祓い清めをします。

越中一宮高瀬神社の夏越の大祓に参加して、暑い夏を健康に乗り切りましょう。

七夕祭並びに技芸上達祈願祭のご案内

日時 七月七日(木) 午後三時

「星まつり」ともいわれる七夕は、天の川を挟んで離ればなれの織女星と牽牛星が、七月七日の夜にだけ再会することを許されたという、古よりの伝承を起源とする風習です。

この日、当神社では七夕の神事に併せて、織姫(織女星)

の優れた手わざにあやかり、手習い事の上達を祈願する「技芸上達祈願祭」を斎行します。どうぞご家族お揃いでお参り下さい。



「人形を」ご希望の方は社務所までお問い合わせ下さい。

ご祈祷のご案内

高瀬神社のご祭神は福の神、縁結びの神、医薬医療の神として全国より広く崇敬を集める大国主大神(大国さま)です。

当神社では、交通安全(車のお祓い)・家内安全・良縁成就(縁結び)・心身健全・厄除け・病氣平癒他のご祈祷を、心を込めて毎日ご奉仕しています。お気軽に社務所までお問い合わせ下さい。

ご祈祷料 1件につき5,000円より
高瀬神社社務所 0763(82)0932

安産祈願 戌の日カレンダー

4月 3日・15日・27日
5月 9日・21日
6月 2日・14日・26日
7月 8日・20日
8月 1日・13日・25日
9月 6日・18日・30日

腹帯のお祓いも行いますので、どうぞご持参下さい。

新型コロナウイルス感染症 拡大防止対策について

当神社では、感染症拡大防止対策として、拝殿に次亜塩素酸空気清浄機・飛沫感染防止パテーションを設置、また申込書ご記入に際しましては、各々に新品のボールペンをご用意し、ご使用後にお持ち帰りいただいております。どうぞ安心してご祈祷をお受け下さい。

シリーズ

大国さまの

牛嶽社めぐり

第三回 赤目谷牛嶽神社

富山県西部中央の山田村（富山市）・庄川町（砺波市）・利賀村（南砺市）にまたがる牛岳頂上（標高九八七メートル）の神社を頂点として、大正には婦負郡（山田村・富山市・八尾町・婦中町）に三十社、東礪波郡（砺波市・庄川町）に八社、合計三十八社が存在していました。昭和になりダム建設などで合祀される牛岳社もあり、婦負郡には二十六社、東礪波郡には六社、合計三十二社を数えました。

現在の富山市山田赤目谷に鎮座する牛嶽神社の鎮座年月日は不明ですが、以前は赤目谷一番地に鎮座していました。

神社名	牛嶽神社
鎮座地	富山市 山田赤目谷
御祭神	大己貴命 藤井秀弘
宮司	一九〇坪
境内地	



四方をガラスの風除室に守られる本殿

昭和六年九月二日に移転許可、昭和七年三月十日に現在の地に移転しました。春祭は四月十五日、秋祭は九月二十七日に行われています。



夏の風鈴、秋のもみじなど、高瀬神社では、季節ごとにその風物詩とも言える飾り細工で社殿や境内を彩り、ご参拝の皆様にお楽しみいただいています。

杜のにぎわい

春三月は吊るし雛、そして来たる五月に向けて「端午の節句」の吊るし飾りを準備しています。風薫るやわらかな初夏の陽射しと共に、季節の飾り細工をお楽しみ下さい。



受付 7月16日(土) 9:00~15:00
7月17日(日) 9:00~ 9:45
祈願料 3,000円より
(手提げ袋1袋程度につき)

人形感謝祭のご案内
日時 七月十七日(日) 午前十時より
場所 高瀬神社御本殿
古くならった人形に感謝し、お祓い、お焚き上げをするお祭り「人形感謝祭」を行います。
役目を終えた「人形」や「ぬいぐるみ」をお持ち寄り下さい。

第22回 人形展 ～ 一期一会 ～

慣れ親しんだ人形とのお別れは寂しいもの。ここにはそんな心を優しく癒してくれるひとときがあります。

県内外で幅広く活躍する人形作家と、草月流富山県支部秀抱会とが織りなす、創作人形といけばなの共演 ―。
心ゆくまでお楽しみ下さい。



期間 7月16日(土)~18日(祝)
10:00~16:00
場所 高瀬神社 参集殿





大国さまの処方せん ④

「毎日の食に感謝」

南砺市民病院 内科部長 井窪万里子

私はおかげさまで老若男女多くの方の病氣と生

すことは大きな労力のはずです。

活を診る機会を得ています。いつも感じることは「食の大切さ」です。皆様は毎日の食をどのように感じておられますか？昭和の時代であれば二、三世代と一っしょに食事をするこ

便利なのは活用いた
だいて結構。しかし、つ
を付けていただきたいこ
は「単品食・単純食」にな
ていないか、と言うこと
です。例えば 朝は菓子パン、
昼はだいたいラーメンかう

も多く、手分けして食事を作り「汁三菜」（汁物、主菜、副菜２品）が成されていたでしょう。しかしどうでしょう、核家族化に共働き、おひとり様、高齢二人暮らし、時間がない、面倒、買い物に行けない、お金はかけられない、いろいろな理

どん、おにぎり、夜はカレー。一食二品、食べやすい好きなものばかり、二日の８割が炭水化物（主食）。主菜の肉・魚・卵・大豆などのタンパク質や副菜のビタミン豊富な野菜・海藻・豆類がほとんど摂取されない食事です。

由で簡単・便利食になっていないでしょうか。いいえ、いいのです、スーパーの総菜もコンビニ食、冷凍食品も活用していただいて結構。「メニューを考え買い物をして調理する」これを毎日こな

されています。単品食・単純食では、エネルギーばかり過剰となり肥満・高血圧・糖尿病に。太つてないから大丈夫と思つたら大間違い、骨はもろく筋肉量は減少、ビタミン不足などで心疾患、貧血、皮膚トラブル、認知機能低下、いろいろな病気に関連します。元気で過ごすために、一汁三菜は無理でも、おかず（主菜、副菜）のある食事を、いろいろな食材をとるよう心掛けたいものです。

井窪万里子先生

南砺市民病院 内科部長

富山大学医学部卒。約二十年
にわたり南砺市民病院の医療
に従事。

内科・糖尿病を中心に健診・
糖尿病外来・リハビリテー
ションと生活基盤の医療に取
り組まれています。

医食同源(いしょくどう
げん)という言葉はご存じ

でしょう。日頃からバランスの取れた食事をとることで病気を予防し、治療しようとする考え方です。私たちの体は食べたもので構成

医薬医療の神として知られる大國主大神（大國さま）のご神徳にちなんだこのコラムは、毎回、専門家の方にご寄稿いただき、読者の皆様の生活に役立つ医療知識などを発信いたします。

ご奉納御礼

【千羽鶴】

茶道裏千家淡交会高岡支部

金田宗香社中殿

【事務機器】

山田 溜菜 殿

【吊るし飾り】

畠山 愛梨 殿

以上の皆様よりご奉納を
賜りました。誌上より厚く御
礼申し上げます。



一月二十三日、「第六十八回 文化財防火デー（毎年一月二十六日）」にあわせて文化財防火訓練を実施しました。

この訓練は、国民共通の財産である文化財を火災の被害から守り、関係機関との連携、防火意識の高揚を図る為のものです。当日は当神社自衛消防隊の初期消火、通報、避難誘導訓練も併せて実施しました。



初宮参りにてご昇殿の赤ちゃんに、お食い初めの「歯固め石」をお頒ちしています。「丈夫な歯が生ますように」との願いを込めて行う儀式に、この「歯固め石」をご希望の方は、どうぞご祈祷後にお申しつけ下さい。



御社殿屋根修復事業奉賛者芳名

(順不同・敬称略)

令和三年十二月一日〜令和四年二月二十八日

現在進捗中の本事業に対し、左記の方々より赤誠あふれるご奉賛を賜りました。誌上より厚く御礼申し上げます。

【五十万円】	西田 吉輝	前田 一	（株）エムズ
【三十万円】	（株）ジオミックス	小泉 由和	平木 利明
藤原 幸宏	川合 民恭	坂田富美子	
寺西 雅典	藤井 孝昌	長谷川睦子	
【十九万円】	小森 穰	藤本 幸次	
（有）つるぎ産業	宮本 利嗣	中沖 慶太	
【十万円】	・銅板奉納者	横田 博	
南部スタジオ	今井 光子	太田千恵子	
確井かおり	山本 祥代	太田裕希子	
山森 信人	小島 幸男	南 敬一郎	
【五万円】	小島 隼平	小泉 由和	
牧印刷（株）	（有）NARumi	平野 進	
牧 秀輔	新夕 馨	菊林千代美	
安達 寛和	阿部 浩士	川合 民恭	
西部 久夫	香川 晃輝	山本 繁樹	
吉田 勇一	中井 芳万	則島 純子	
【二万円】	藤田 真紀子	安宅由起子	
山森 正道	伊澤啓太郎	久保 貴美	
【一万円】	中村 隆志	太田 美一	
井上 恵資	酒泉 義弘	花村佐代子	
中島 好夫	中嶋 健一	齊藤 十明	
松 智彦	清水富美子	南防水工業（株）	
【五千円】	（有）ニユーズ	穴田 貴士	
佐々井昌代	荒木ちはる		
小森 靖久	荒木 愛里		

御社殿屋根

修復事業 ご奉賛のお願い

高瀬神社では、経年により傷みの進行した御社殿屋根の葺き替え工事を予定しております。高瀬の大神様のさらなる御神威の宣揚と、誠心の籠った御社殿の末永い護持の為、あたたかいご奉賛を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

《事業概要》

- 一、御社殿屋根銅板葺き替え・附属飾り金具改修工事
- 一、工期 令和四年夏より翌年秋竣工予定
- 一、募金目標額 五〇、〇〇〇、〇〇〇円
- 一、募金実施期間 令和五年十二月末まで



◎お願い事を記してお納めいただく「銅板奉納」も承っております。
◎詳しくは社務所までお問い合わせ下さい。
電話 0763 (82) 0932

表紙写真

「浦安の舞」。平和で穏やかな世の継続を祈る昭和天皇の御製に、曲と舞をあわせた神前神楽。

編集後記

「春秋の争い」という言葉がある。これは「万葉集」や「源氏物語」など、日本の古典文学に時折り姿を見せる、「春と秋のどちらがより優れた季節であるか」を議論するたおやかな争いのこと。私たちの国には美しい四季がある。（智）

今市子展「妖魔、神と仏の間で」

神道と仏道のはざまでゆらりと蠢く妖魔の世界に翻弄される主人公たちの展覧会を開催します。

期間 令和四年七月一日（金）〜七月十日（日）
午前九時〜午後五時
会場 越中一宮 高瀬神社参集殿 【入場無料】



©今市子『百鬼夜行抄』（朝日新聞出版刊）

【辞令】

巫女 畠山 愛梨
願により職を免ずる
令和四年三月三十一日
巫女 山田 瑠菜
採用 源 結羽
願により職を免ずる
令和四年四月 一日



結びの杜の神前式

縁結びの神様、大国主大神をお祭りする越中一宮。

日常を隔てる境内で、玉砂利を踏みしめて歩く参進の儀に始まり、杜殿に響き渡る雅楽の調べの中、厳かな神前式が執り行われます。

大国様の「結び」の御神徳によりお二人だけではなく、両家の絆も固く結ばれます。



四季折々の境内で
ロケーションフォトを満喫



一日一組限定のおもてなし

完全な
プライベート空間で
和やかな宴会が実現
すべては一組の
新たな夫婦の幸福のために



オープンエアな
プライベートテラスで
開放的な演出が実現



結婚式をあきらめないでください

二人だけでも結婚式はできます。

「だったら、家族は欠かせないかな。」

「折角だから、親戚のみなさんだけでも。」

「できれば、近くに住む友人くらいは…」

列席を減らすのではなく、無理なく増やす。

そんな考え方で結婚式を叶えてみませんか。

挙式のみ、少人数会食、
高瀬神社は結婚されるすべての方を歓迎しています。

あなたの人生に、神社がある。越中一宮高瀬神社

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291
ご予約はTEL0763-82-1131

高瀬神社

検索



高瀬神社LINE



高瀬神社HP